

日本臨床泌尿器科医学会会報

日本臨床泌尿器科医会のURL

<http://www.uro-ikai.jp>

第 52 号

巻 頭 言

創立20周年記念式典の開催を終えて

日本臨床泌尿器科医会 会長 宮崎 良春

さる6月3日、東京・明治記念会館にて創立20周年記念式典・祝賀会が行われました。日本臨床泌尿器科医会は平成9年4月27日に横浜にて会員1295名で創立総会を行い発足致しました。

初代会長 前川正信先生、2代目会長 吉田英機先生、そして3代目会長、私とまだ3人目で比較的歴史が浅い医会で、4年前の眼科医会80周年、昨年の小児科医会30周年、本年7月予定の、耳鼻咽喉科医会50周年と、他科の専門医会は泌尿器科に比して歴史も長く、内科医会、外科医会など共に日本医師会臨床分科医会代表者会議の中核をなしています。年に2回の情報交換の場は、私も会長就任後3年前より参加し、大変有意義な会と認識しております。

創立10周年記念式典は平成19年10月7日、大阪リーガロイヤルホテルにて開催され、記念講演は日本赤十字社センター泌尿器科部長の本間之夫先生にお願いし、招待は山崎拓衆院議員、竹島康弘日医副会長などに出席していただきました。

早いものであれから10年、今回は東京での開催と致しました。当日晴天に恵まれ、出足も少しよかったようで、盛会と言っていい出席状況でした。式典に先立ち、学術講演は4月1日東京大学を辞し、日本赤十字センター院長になられた本間之夫先生に「間質性膀胱炎の病態＝診断・治療の展開」の演題にて講演いただきました。

記念式典は私の開会の「式辞」後、まず来賓として日本医師会副会長 今村聡先生の御挨拶を受けました。続いて功労者表彰は永年の功績に対し吉田英機前会長におくりました。記念講演は日本泌尿器科学会理事長 藤澤正人先生に「泌尿器科医療の現状と今後の展望」という演題にて泌尿器科医療の将来に向けての問題点などをご講演いただきました。

会場を移動して祝賀会を開催しました。4人の現職の国会議員に出席いただきそれぞれご挨拶をいただきました。

鴨下一郎先生(元環境大臣・衆院議員)

三ツ林裕己先生(厚労省政務官・衆院議員)

羽生田たかし先生(参院・厚生労働委員長)

自見はな子先生(参院・厚生労働委員)

皆さんには会の終了までつきあっていただき、会員諸候との懇談、人によって陳情まで発展したようです。

歴代の日泌理事長に出席いただき、守殿貞夫先生に乾杯をお願いし、又、奥山明彦先生、内藤誠二先生にもお祝辞をいただきました。

日本医師会臨床分科医会からも5人ご出席いただきました。

放射線科 井田正博理事長

小児科 松平隆光会長

整形外科 田辺秀樹理事長

耳鼻咽喉科 中澤宏副理事長

精神神経科 紫藤昌彦副会長

代表として井田先生にご挨拶いただきました。

そうこうしている内に時間も経過し、なごやかの中に散会となりました。全体的に評価してそれなりの20周年だったと思います。この会がきちんとした形で終了したのは小川肇先生、増田光伸先生、賀屋仁先生など実行委員の方々によるものであり、又、事務局の富永光世氏、大森啓次氏に感謝申し上げます。

日本臨床泌尿器科医会 創立20周年記念式典を終えて

日本臨床泌尿器科医会 副会長 清原 久和

平成29年6月3日午後4時半より、日本臨床泌尿器科医会(以下日臨泌と略します)創立20周年記念式典、講演会、祝賀会が、東京神宮外苑の明治記念館富士の間で開催されました。首都圏を中心に約200名の参加者があり、式典では、来賓として日本医師会副会長 今村 聡先生が横倉義武会長のお祝辞を代読されました。日本泌尿器科学会(以下日泌と略します)理事長 藤澤正人先生からもお祝辞をいただきました。長年の日臨泌への功労に対して吉田英機名誉会長、児玉光正前事務局長が表彰されました。学術講演は、当会理事でもある本間之夫日赤医療センター院長(前東大教授、元日泌理事長)が、現在難病指定されている間質性膀胱炎の取組について現在までに判明している最先端の情報を分かりやすく解説されました。記念講演は、藤澤正人泌尿器科学会理事長(神戸大学病院病院長)が、泌尿器科医療の現状と今後の展望について詳細なデータをもとにその将来性について示唆に富むお話をされました。祝賀会では、来賓として衆議院から元環境大臣の鴨下一郎先生、厚労省政務官の三ツ林 裕巳先生、参議院からは厚生労働委員会委員長 羽生田 俊先生、前回日医推薦で当選された自見はなこ先生に御祝辞をいただきました。4人の国会議員の方々はすべて医師であり医療現場をよくご存じで、少子高齢化社会、前立腺癌を代表とする尿路性器癌の増加への取組などについて当医会へエールを頂きました。鴨下先生、三ツ林先生をお呼びできたのは両先生と大学の同門である斎藤忠則常務理事のご尽力の賜であります。元日泌理事長の守殿貞夫先生(前神戸大学副学長)の乾杯の御発声で開宴、日本臨床分科医会代表者会議の代表で日本放射線専門医会理事長の井田正博先生、日泌理事長 藤澤正人先生、前理事長 内藤誠二先生(前SIU理事長)、元理事長 奥山明彦先生(大阪大学名誉教授)、並木幹夫先生(金沢大学名誉教授)、熊本悦明先生(札幌医大名誉教授)にもご挨拶を頂きました。また日医の常任理事、中医協委員で、当会理事でもある松本純一先生もご参加いただきました。私自身も4人の国会議員の先生方、今村日医副会長、松本日医常任理事、藤澤日泌理事長とそれぞれお話をさせていただき雑談の中で日臨泌の運営について御提言、都叱咤激励のお言葉を戴きました。

日臨泌もやっと**成人式**を迎えましたが、まだまだ心身とも未熟で今後まだまだ成長していかなくてはなりません。それは**身の丈**(会員数、財源)、**能力**(組織力、事業部機能など)両方についてであります。[身の丈]について、会員数は都道府県で偏在はあるものの未だ日泌の会員数の1/5であり勤務医、開業医の特に若い先生方から、まだまだ会員

数の増加が望めます。財源についても今後の医療活動や広報などの事業展開も考慮すればさらに増やす努力をすることが必要です。[能力]について、臨床医会の理事の先生の中には全国各地の医会代表あるいは幹部の方もおられますが、全国の医会の意志を結集したり情報を配信したりする機能はまだまだです。診療報酬の要求のみならず、医療現場での医師の待遇改善、医療安全、医療訴訟の対応、在宅や地域医療での役割、女性医師の活動など、日医、郡市区医師会で取り組んでいる課題を泌尿器科領域について考えていくことが必要かと考えます。

日本臨床泌尿器科医会 20周年記念祝賀会を終えて

日本臨床泌尿器科医会 副会長 山口 秋人

今年の日本臨床泌尿器科医会は20周年記念祝賀会が大きな行事であったが、盛会裏に無事に終えたことで、いまだに感慨深い気持ちでいます。先ずはこの祝賀会が無事に終えたことより、役員をはじめ会員の皆様に深く感謝申し上げます。

今回の祝賀会では、会場が由緒ある明治記念館ということもあり、厳粛なうちに執り行われた感を持ちました。私は記念式典前に行われた学術講演会で、本間之夫先生の記念講演会の座長をさせていただきました。本当に光栄なこと感激しました。ご講演は本間先生のライフワークの一つである間質性膀胱炎について、歴史から診断および最新の治療まで網羅して非常にわかりやすく述べていただきました。聴講の皆様にとって非常に有意義なもので、本間先生に深く感謝いたします。記念式典では、日本医師会副会長の今村聡先生をはじめ多くのお祝辞をいただきました。20周年の節目を迎えて、日本臨床泌尿器科医会が更に会員を増やし、ますます活発に活動しその責務を遂行できるよう尽力する気持ちを新たにす次第でした。その後の記念祝賀会では、鴨下一郎先生(元環境大臣・衆議院議員)、三ッ林裕巳先生(厚生労働大臣政務官・衆議院議員)、羽生田俊先生(参議院厚生労働委員長・参議院議員)および自見はなこ先生(参議院議員)の現職国会議員が4名全て代理ではなくて本人がご参列されました。しかもお祝辞を述べられた後も長い時間ご滞在していただけたのが印象的でした。特に自見はなこ先生と羽生田たかし先生には最後までご参列いただき、ご懇談いただけたのは本当に感激しました。これはたぶん宮崎良春会長の人徳のなせる業でしょう。また、羽生田先生が高額なディスプレイ医療機器について、再使用できるようにして医療コストを下げたいと熱く語られたことにも胸をうたれました。今回の20周年記念式典がつつがなく進行して、記憶に深く残して終わったことを本当に嬉しく思った次第です。

日本臨床泌尿器科医会 創立20周年記念式典・講演会を終えて

日本臨床泌尿器科医会 常務理事 増田 光伸

日本臨床泌尿器科医会創立20周年記念式典・講演会が成功裡に終わりましたことは、会員の先生方を始めとしまして、事務局および役員の先生方のご尽力の賜物と感謝申し上げます。

私は実行委員長の小川肇先生の下で、正井基之先生、賀屋仁先生、長倉和彦先生と共に実行委員を務めさせて頂きました。昨年の4月3日の日曜日に東京駅の構内で初めての打ち合わせ会がありました。8月には式典会場の明治記念館で下見も行いましたが、まだまだ先の話だと高を括っておりました。ところが、その後私が式典と祝賀会の司会を務める羽目になってしまい、一挙に矢面に立たされることになってしまいました。

当日は、司会者としていきなり試練に遭遇してしまいました。企業の方々が式典会場に入る前に影アナの式典開始のアナウンスが始まってしまい、それに釣られる形で私も記念式典の司会を始めてしまいました。まだ企業の方々が会場の外で待っていることを事務局から指摘され、何とかその場を取り繕いましたが、心臓はバクバク状態でした。おめでたい席に免じて、お許しを頂きたいと存じます。

私が日臨泌の役員となって9年が過ぎましたが、この9年間に役員全員が一つの事業に向かって協力し合う機会は無かったと思います。そのような意味でこの20周年記念事業は、役員の実力と日臨泌の組織力を試す良い機会であったと思います。記念式典・講演会・祝賀会には200名を超える出席者を得て、会場も満員となる大盛況でした。記念事業を通して、日臨泌の実力と組織力を一般会員の先生方のみならず対外的にも示せたのではないかと思います。

今回の記念事業で示した結束力を持ってすれば、日臨泌はこれからも「泌尿器科医の社会的評価の向上と経済的基盤の強化」に大いに貢献し得ると信じております。

日本臨床泌尿器科医会 設立20周年行事

実行委員長 小川 肇

日本臨床泌尿器科医会が設立二十周年を迎え、平成29年6月3日(土)に東京の明治記念館で記念行事として学術講演会・記念式典・記念講演会・祝賀会を、200名を超える参加者を迎え開催されました。

学術講演会はアステラス製薬の共催で開催され、本間之夫先生による「間質性膀胱炎の実態=診断・治療への展開」の講演がありました。本間先生のライフワークと言えるお話で、難解な疾患について大変わかりやすく解説いただきました。続いて医会主催での記念式典が開催されました。宮崎良春会長の式辞、来賓の日本医師会副会長今村聡先生、日本泌尿器科学会理事長 藤澤正人先生からのご祝辞をいただき、吉田英機前会長、児玉光正前事務局長への功労表彰に続き、藤澤先生から「泌尿器科医療の現状と今後の展望」と題された記念講演で式典が終了しました。

隣の会場で開かれた祝賀会では衆議院議員 鴨下一郎先生、三ツ林裕巳先生、参議院議員 羽生田俊先生、自見はなこ先生の医師免許を持つ4名の国会議員をはじめ、日本泌尿器科学会歴代の理事長 守殿貞夫先生、奥山明彦先生、内藤誠二先生、関東の医科大学、医学部教授、他科の臨床医会の会長など多くの先生にご祝辞をいただき、大盛況のうちに終了しました。

昨年1月に大阪で開かれた定例の理事会の席上、会長から来年は医会設立20周年行事を東京で開催しようと提案され、同時に実行委員長を任されました。東京の明治記念館での開催が決まっているだけの段階での突然の指名で困惑しました。私一人では重責で、近隣の神奈川県 増田光伸先生、千葉県 正井基之先生、埼玉県 賀屋仁先生さらに東京からもう一人東京泌尿器科医会会長 長倉和彦先生にも実行委員になっていただきました。開催日、内容の検討など全国組織として恥ずかしくない会にしたい、なるべく多くの先生に参加していただきたいとの思いだけが先行し気が焦るばかりでしたが、実行委員の先生方や秋山喜久夫事務局長と何度も実行委員会を重ね、明治記念館の下見をしたり次第にどんな会になるのかがわかってきました。しかし本当にどれくらいの方が参加して下さるのか心配して当日を迎えました。それが、蓋を開けてみると200名を超える方々に参加していただき、超満員の会場を見て感激いたしました。御参加して下さった皆様と実行委員、事務局長、に心から感謝申し上げます。どうもありがとうございました。

事務局長より

事務局長 秋山 喜久夫

残暑も厳しき折、会員の皆様もご清祥にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

- ① さて、今春におこなわれました第105回日本泌尿器科学会総会 会長 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 泌尿器科学分野 中川昌之教授のご協力によりまして、4月23日(日)に弊会主催による全国審査員懇談会、弊会主催による各種日必教育プログラム、第20回日本臨床泌尿器科医学会総会、特別合同講演会と行ない盛会裡に終えることができました。また、第20回日本臨床泌尿器科医学会総会・特別合同講演会で貴重なお話をいただきました国際泌尿器科学会(SIU)前理事長、九州大学名誉教授、原三信病院名誉院長 内藤誠二先生ならびに中川昌之教授にこの場をお借りして厚くお礼申し上げます。
- ② 日本臨床泌尿器科医学会創立20周年記念式典・講演会を6月3日(土)、明治記念会館で220名を超える参加者で盛会裡に終了いたしました。来賓としまして元環境大臣・衆議院議員 鴨下一郎様、厚生労働大臣政務官・衆議院議員 三ッ林裕巳様、参議院厚生労働委員長・参議院議員 羽生田 俊様、参議院議員 自見はなこ様、日本医師会副会長 今村 聡先生、各臨床医会より一般社団法人 日本放射線専門医会・理事長 井田正博先生、特定非営利活動法人 日本耳鼻咽喉科医会副理事長 中澤 宏先生、一般社団法人 日本小児科医学会会長 松平隆光先生、一般社団法人 日本臨床整形外科学会理事長 田辺秀樹先生、公益社団法人 日本精神神経科診療所協会副会長 紫藤昌彦先生、また一般社団法人 日本泌尿器科学会より元理事長 守殿貞夫先生、奥山明彦先生、内藤誠二先生、本間之夫先生、現理事長の藤澤正人先生のご臨席を賜りました。また、藤澤正人先生には記念講演「泌尿器科医療の現状と今後の展望」と題してご講演もしていただきました。この20周年記念式典を行うにあたり実行委員長の小川 肇先生を中心として増田光伸先生、正井基之先生、賀屋 仁先生、長倉和彦先生には企画計画段階よりご尽力をいただきました。皆様のご協力とご厚情をもちまして一大イベントを無事に終了できましたことこの場をお借りいたしまして御礼申し上げます。
- ③ 2017年は上記の20周年記念事業を行いましたので通年行っております臨床検討

会はお休みとさせていただきます。

2018年は日本臨床泌尿器科医会理事の賀屋 仁先生が会長でパレスホテル大宮(埼玉県大宮市)、10月28日(日)にて行うべく準備をさせていただいております。会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

- ④ 日本泌尿器科学会東部総会、中部総会、西日本総会に於いては、例年の如く弊社役員による教育プログラムにて、泌尿器科保険診療に有意義な講演をさせていただきます。ご参加ください。

日本臨床泌尿器科医会 平成28年度事業報告

* 会報発行

1月 会報第49号発行
11月 会報第50号発行

* 総 会

4月24日 第19回日本臨床泌尿器科医会総会(仙台)
日本臨床泌尿器科医会総会特別講演会(仙台)
9月 第105回日本泌尿器科学会総会 教授表敬訪問(鹿児島)

* 会長講演

2月25日 西宮市泌尿器科医会総会
6月30日 岡山県泌尿器科医科会

* 臨床検討会

7月10日 第13回臨床検討会(北海道)

* 全国保険審査委員懇談会

3月 東京、神奈川、埼玉、大阪保険審査委員検討会(東京)
4月24日 第31回全国保険審査委員懇談会(仙台)

* 日本臨床分科医会

1月 第15回代表者会議
8月 第16回代表者会議

* 保険教育プログラム・保健委員会

4月24日 総会(仙台)
10月 7日～ 9日 東部総会(青森)
10月27日～29日 中部総会(四日市)
11月24日～26日 西日本総会(下関)

* 理事会


2月 7日 第1回理事会(大阪)
4月24日 第2回理事会(仙台)
7月10日 第3回理事会(北海道)

* その他


2月19日 「医学生・研修医をサポートするための会」(福岡)
11月 「保険診療の手引き」発刊
11月19日 内科医会座談会(東京)


日本臨床泌尿器科医会 平成28年度決算書

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|--------|------------|-----------|------------|
| 会費収入 | 15,090,048 | 通信費 | 1,756,116 |
| 寄付金収入 | 1,000,000 | 印刷費 | 3,216,758 |
| 広告料収入 | 544,320 | 会議費 | 1,507,975 |
| 銀行預金利息 | 702 | 人件費 | 1,801,000 |
| | | 交通費 | 2,831,570 |
| | | 事業費 | 2,242,769 |
| | | 事務用品費 | 146,097 |
| | | 管理委託費 | 2,110,753 |
| | | 事務委託費 | 1,161,389 |
| | | 雑費(振込手数料) | 161,056 |
| 収入合計 | 16,635,070 | 20周年記念寄付金 | 2,000,000 |
| 前年度繰越 | 8,820,086 | 支出合計 | 18,935,483 |
| 収入総合計 | 25,455,156 | 次年度繰越 | 6,519,673 |

財務委員長 秋山 善久夫 

以上、平成28年度の会計は相違なく、妥当と認めます。

平成 29 年 3 月 11 日 監事 吉田豊彦 

平成 29 年 3 月 15 日 監事 成田晴紀 

日本臨床泌尿器科医会 平成29年度事業計画案

* 会報発行

1月 会報第51号発行
8月 会報第52号発行

* 総 会

4月23日 第20回日本臨床泌尿器科医会総会(鹿児島)
日本臨床泌尿器科医会総会特別講演会(鹿児島)
8月頃 第106回日本泌尿器科学会総会 教授表敬訪問(京都)

* 会長講演

2月 9日 西宮市泌尿器科医会総会

* 日本臨床泌尿器科医会20周年記念式典

6月 3日 明治神宮記念館

* 全国保険審査委員懇談会

3月 東京、神奈川、埼玉、大阪保険審査委員検討会(東京)
4月23日 第32回全国保険審査委員懇談会(仙台)

* 日本臨床分科医会

1月 第17回代表者会議
8月 第18回代表者会議

* 保険教育プログラム・保健委員会

4月23日 総会(鹿児島)
9月15日～18日 東部総会(東京)
11月24日～27日 中部総会(大阪)
11月 9日～12日 西日本総会(大分)

* 理事会

2月 5日 第1回理事会(大阪)
4月23日 第2回理事会(鹿児島)
6月 3日 第3回理事会(東京)

* その他

1月28日 「医学生・研修医をサポートするための会」(神奈川)
9月 9日 講演会(熊本)

日本臨床泌尿器科医会 平成29年度予算案

| 収入の部 | | 支出の部 | |
|----------|-------------|-----------|-------------|
| 会費収入 | 16,500,000円 | 通信費 | 1,800,000円 |
| | | 印刷費 | 1,200,000円 |
| 広告料収入 | 500,000円 | 会議費 | 1,600,000円 |
| | | 人件費 | 1,850,000円 |
| | | 交通費 | 3,000,000円 |
| | | 事業費 | 2,300,000円 |
| | | 事務用品費 | 200,000円 |
| | | 管理委託費 | 2,200,000円 |
| | | 事務委託費 | 1,200,000円 |
| | | 雑費(振込手数料) | 200,000円 |
| 収入合計 | 17,000,000円 | | |
| | | | |
| 平成28年度繰越 | 6,519,673円 | 支出合計 | 15,550,000円 |
| 収入総合計 | 23,519,673円 | 次年度繰越 | 7,969,673円 |

必要な方はコピーをして御利用下さい。

日本臨床泌尿器科医会事務局 御中

FAX : 0798 - 65 - 0863

平成 年 月 日

日本臨床泌尿器科医会・変更届

| | | |
|---|--------|--|
| ふりがな | | |
| 氏 名 | | |
| ◆勤務先 変更 → 有・無 | | |
| 新勤務先 | 名 称 | |
| | 郵便番号 | |
| | 住 所 | |
| | 電話番号 | |
| | FAX番号 | |
| | E-mail | |
| ◆自 宅 変更 → 有・無 | | |
| 新 自 宅 | 郵便番号 | |
| | 住 所 | |
| | 電話番号 | |
| | FAX番号 | |
| | E-mail | |
| ◆連絡先 (郵便物の送付先) / どちらかに○印を付けて下さい。 ・勤務先 ・自 宅 | | |
| ◆所属 / いずれかに○印を付けて下さい。 ・開業医 ・開設者 ・勤務医 ・その他 () | | |
| ◆ 開業・開設 平成・昭和 年 月 日 | | |
| その他 (通信欄) | | |
| ◆退会について 退会希望 / いずれかに○印を付けて下さい。 ・退職 ・閉院 ・その他 () | | |

*記載していただきました個人情報は、会員の管理、郵便物の発送等日本臨床泌尿器科医会以外で使用しません。
(日本臨床泌尿器科医会・会報第52号)

◇ 事務局より ◇

- * 会報第52号をお届けいたします。
- ※ 平成29年度年会費及び過年度年会費未納の会員は、至急お振込下さい。
年会費 開業医・開設者 20,000円
勤務医・その他 3,000円
- ※ ホームページよりログインして、ご自身のマイページをご確認下さい。
- ※ 入会ご希望の方は、ホームページより入会申し込み書をダウンロードしてご利用下さい。
- ※ 転勤・転居・住所表記等の登録事項の変更等がございましたら、事務局まで変更届をFAXもしくはE-mailでお知らせ下さい。変更届は、会報やホームページよりダウンロードしてご利用下さい。
- ※ 個人情報の漏洩には、細心の注意を払いデータ管理をしております。

発行日／平成29年8月1日

発行行／日本臨床泌尿器科医会

〒662-0832

兵庫県西宮市甲風園1丁目10-11

秋山泌尿器科内

TEL:0798-65-0854 FAX:0798-65-0863

E-mail: akiyamahinyoukika@cosmos.ocn.ne.jp

発行責任者／宮崎 良春

製作／株式会社プランニング フォレスト

大森 啓次